

会議録様式

附 属 機 関 等 の 名 称	杉戸町子どもにやさしい街づくり推進会議
会 議 名	令和 8 年度第 1 回杉戸町子どもにやさしい街づくり推進会議
開 催 日 時	令和 8 年 7 月 2 4 日（金） 午前 1 0 : 0 0 ～午前 1 1 : 0 0
開 催 場 所	杉戸町役場 第二庁舎 2 階第 1 ・ 2 会議室
議 題	(1) 杉戸町こども計画 令和 7 年度実施状況及び令和 8 年度実施計画について (2) 杉戸町こども計画 代用計画について
公開・非公開の別	<u>公開</u> ・ 一部公開 ・ 非公開（公開の場合 傍聴者 0 人） (非公開の場合理由)
出席委員氏名	馬島委員、大越委員、鈴木委員、古澤委員、野田委員、羽鳥委員、齋藤委員、藤田委員、高橋委員、森田委員、岡崎委員、長岡委員、八木原委員、大塚委員、渡邊委員、村木委員、富塚委員、宮田委員 (欠席委員) 神山委員、遠藤委員
審議の概要	上記の議題について審議を行った。 詳細は下記のとおり。 議題 1 杉戸町こども計画 令和 7 年度実施状況及び令和 8 年度実施計画について ■事務局より説明。 杉戸町こども計画の概要と令和 7 年度実施状況のうち達成度が B となった基本目標 1、目標 No16「放課後子供教室の充実」と目標 No17「スポーツ少年団活動の推進」についての B 評価の理由の説明。 <u>質疑応答</u> (宮田委員) No24 の杉戸町内のこども食堂の活動状況はどのようになっていますか。(事務局) 当町の状況でございますが、こども食堂を運営している団体が 3 団体、フードパントリーを運営している団体が 1 団体ございます。 こども食堂やフードパントリーにつきましては、地域におけるこどもや家庭の居場所づくり、見守り、さらには、地域交流の場としても重要な役割を担っていただけるものと認識しております。 利用に当たっては、地域の民間団体やボランティアが主体となり活動しているため、開催日、利用対象者等については限定されており、各団体が独自にこどもたちやその保護者の居場所づくりを行っている現状でございます。

一例として、フードパントリー事業を実施している「すぎと居場所づくり応援隊」による「すぎと子育て応援フードパントリー」は、ひとり親世帯のうち希望する世帯を対象として、2か月に一回、食料等の無料配布を行っています。フードパントリーには、フードバンクや社会福祉協議会、地元の農家の方、支援企業、地域の方々など、様々なルートを通じて食品等の寄贈、提供があり、すぎと居場所づくり応援隊では、それらを受け取り、仕分けをして、希望するひとり親家庭に配布するほか、配布場所を「居場所」として人のつながりを促進する活動を行っています。町といたしましても、引き続き、活動団体との情報共有を図りながら、こどもや家庭を地域で支える取り組みについて連携してまいりたいと考えております。

(宮田委員)

私は泉地区ですが、泉地区でそういう事業をやっている団体を聞かないのと、海外の方が増えています、そういった方へどうなっていますか。外国の方が遊んでいたりするのが多くみられるようになったので。

(事務局)

泉地区のこども食堂ですが、現在、子供食堂が主に活動しているエリアは、中央地区がメインです。

フードパントリー事業につきましては町内全域という形で賄っているところがございますが、こども食堂につきましては実際のところ偏りがある現状でございます。

具体的に、そういった団体様の御意向によりまして活動していただくことになっておりますので、そういった意向の団体の方々がいらっしゃれば私どもの方で情報提供させていただき、活動のご支援をさせていただきます。また子供食堂は、先ほど申し上げましたように居場所の一環となることから泉地区としますと、泉の子育て支援センターであるとか泉児童館など居場所の一環としてとらえていただければと思います。

こども食堂やフードパントリーについては、地域におけるこどもや家庭の居場所づくり、見守り、さらには地域交流の場としても重要な役割を担っていただけるものと認識しております。

議題2 杉戸町こども計画 代用計画について

■事務局より説明。

(2) 杉戸町こども計画 代用計画について

質疑応答

(富塚委員)

令和8年度は1日12名まで定員として書かれていましたが、これまでの利用状況はどのようなものですか。

(事務局)

本事業の利用に関しては、令和8年度から始まった事業ですが、利用対象である事前の認定審査や保育時の安全確保等に必要な情報を確保するた

めの事前面談などの準備期間が必要となるため、保育が実際に始まったのは6月1日からとなります。

6月1日から7月15日現在の実施として、お預かりしたお子さんの延べ人数が27名となっております。

1日単位での利用状況としては、1名から2名がほとんどです。

利用した保護者からは、「同世代の友達とお互いに刺激を受けながら楽しく過ごす機会となった。」「母と離れても泣かずに安定して過ごせたと聞いて安心した。」「園で立つ、座るなどの意欲を見せていると聞き、成長の姿を共有できることがうれしい。」「今日は一時間早く起きるほど楽しみにしていた。」などの感想が寄せられております。保護者の気持ちに寄り添った事業をスタートできたかと思えます。